

YAMAHA MIDPLUG ver 3.00b2 for Windows95 README file

このソフトウェアをご使用になる前に、使用許諾契約書を必ずお読み下さい。
また、このプログラムはβ版ですので、プログラム上のバグ、あるいは機種や環境によってはシステムエラーなどのトラブルを起こす可能性があります事をご承知ください。

※この MIDPLUG の使用期限は、1997年3月31日です。

[はじめに]

ヤマハ「MIDPLUG」は、Netscape社 Navigator のプラグインとして、インターネット上で高品位の音楽の配信を可能にする画期的なソフトウェアです。MIDI の特性を活かし、現在のネットワークインフラにおいても、快適に音楽を提供することが可能です。また、ソフトシンセサイザーにより、ユーザー環境に専用のハードウェアが無くても高品質の音楽が楽しめます。「MIDPLUG」は、よりダイナミックで効果的なホームページ作りや情報発信を可能にします。

YAMAHA MIDPLUG ver2.00b からの主な改良は以下の通りです。

- 1.音源部分をドライバー形式でインストール。
YAMAHA MIDPLUG ver3.00b for Windows95 では、音源部分をドライバー形式としてインストールするため、MIDI を再生しながら、同じページ内でデジタルオーディオのファイルを再生することが可能になりました。また、ブラウザを通してのみ可能だった MIDI ファイルの再生が、他のアプリケーションからでも可能になりました。
- 2.複数の起動が可能
音源部を切り離したため、1ブラウザ上での MIDPLUG の複数起動が可能になりました(*)。
また、複数のブラウザを同時に立ち上げても、各々に起動している MIDPLUG を切り替えて使用することができます。

(*)同時に発音する MIDPLUG は、画面上に1つのみで、1つの MIDPLUG が発音している最中は、他の MIDPLUG は自動的に停止します。
- 3.LiveConnect に対応
Netscape Navigator3.0以降でサポートされている LiveConnect に対応したため、JavaScript からの MIDPLUG の制御が可能になりました。スタート、ストップをはじめその他の機能がページ中の様々なコンポーネント等から制御可能になるなど、今まで以上にページ作りの可能性を広げました。
- 4.文字の表示が可能
EMBED 文オプションで、ディスプレイ部に任意の文字列を表示することができるようになりました。全角/半角文字共に表示可能で、表示可能な最大文字数は、半角で約 14 文字です。

[MIDPLUG ver3.00b for Windows95 の主な特徴]

(コントローラー部)

- Netscape Navigator 2.0 以降に対応
- LiveConnect に対応 (Netscape Navigator 3.0 以降)
- MIDI ファイルの再生、停止、テンポ変更、トランスポーズ、音量コントロール
- SMF フォーマット 0/1 に対応
- シンプルで小型のインターフェース
- 画面サイズは 150 x 40、100 x 30、40 x 35 ドットの 3 サイズを用意
- ホームページの雰囲気にあわせ、2種類のデザインが選択可能

(音源部)

- 音源として、ヤマハソフトシンセサイザードライバー「S-YG20」を採用、ブラウザ以外での MIDI 曲の再生も可能
- GM 互換。 XG フォーマットの音色に対応した 360 音色、11 ドラムキット (SFX キット x2 を含む)、リバーブ
- 同時発音 32 音

[Installの仕方]

ダウンロードしたファイルをダブルクリックで解凍すると、「MP95jv3」が生成されます。
その中の「Setup.exe」をダブルクリックすると、Installを開始します。

画面に従って Installを進めると、以下のファイルが所定の位置にコピーされます。
(以下のディレクトリは、デフォルトの状態です)

```
C:\Program Files
|--Netscape
    |--Navigator
        |--Program
            |--Plugins:npmidy32.dll
                npmidy32.zip
            |--Npmidy:Readme_J.doc
                LicenseJ.txt
```

任意のディレクトリに Installした Netscape Navigatorに MIDPLUGを Installする場合は、MIDPLUGの Install先を、Netscape内の "Plugins"フォルダがターゲットになるように指定してください。
また、Installによってコピーされる "npmidy32.zip" は、この形のままで機能します。解凍せずにそのままお使いください。

続いて、音源部「S-YG20」の Installに入ります。
S-YG20の Installが終了すると、コントロールパネル内に次のようなアイコンが生成されます。

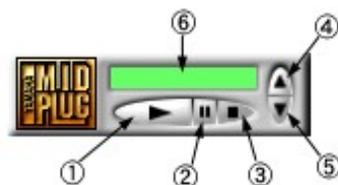


Installが完了しましたら、コンピューターを再起動してください。

また、Readme_J.doc, LicenseJ.txtはプログラムマネージャに登録されます。
MIDPLUGご使用前に必ずお読みください。

(注) お手持ちのコンピューターに既に「S-YG20 体験版」を Installなさっている場合は、これを UnInstallerで削除してから MIDPLUGの Installを行ってください。

[コントロールパネルの操作]



① : 再生ボタン

クリックすると演奏 (MIDI ファイルの再生) を開始します。
演奏中にはボタンが押された状態になり、マークが緑色に光ります。
EMBED 文中のオプションで "AUTOSTART=TRUE" になっていると、自動的にボタンが押されます。

- ②：一時停止ボタン
 クリックすると演奏中の曲を一時停止します。
 もう一度ポーズボタンをクリックするか、再生ボタンをクリックすると、
 一時停止していた位置から曲の演奏を再開します。
- ③：停止ボタン
 クリックすると演奏（MIDI ファイルの再生）を停止し、曲の先頭に戻ります。
- ④：音量アップボタン
 クリックする度に音量を大きくすることができます。
 音量アップ中はボタンマークが緑色に光ります。
 音量が最大になると、ボタンの中のマークが消えます。
- ⑤：音量ダウンボタン
 クリックする度に音量を小さくすることができます。
 音量ダウン中はボタンマークが緑色に光ります。
 音量が最小になると、ボタンの中のマークが消えます。
- ⑥：ディスプレイ
 再生中の MIDI ファイル名を表示します。
 表示できる最大文字数は、半角で約 14 文字が目安です。

右クリックでポップアップメニューを出します。
 以下にその内容と機能を表示します。

再生	・再生ボタンと同じ機能です。	この5項目は、パネル表示が 40x35の時のみ表示されます。
停止	・停止ボタンと同じ機能です。	
一時停止	・一時停止ボタンと同じ機能です。	
音量 大きく	・音量アップボタンと同じ機能です。	
音量 小さく	・音量ダウンボタンと同じ機能です。	
テンポ 速く	・曲のテンポを早くします。	
テンポ 元に戻す	・オリジナルのテンポに戻します。	
テンポ 遅く	・曲のテンポを遅くします。	
移調 高く	・曲のキーを半音上げます。	
移調 元に戻す	・曲のキーを元に戻します。	
移調 低く	・曲のキーを半音下げます。	
YAMAHA SGMP Driver	・現在使用可能な全ての MIDI ドライバーを表示し、選択されたものに チェックマークがつきます。曲の停止中にのみ変更が可能です。	
MIDI Mapper	・デフォルトで "YAMAHA SGMP Driver" が選択されています。	
ソフトシンセサイザー セットアップ	・ "YAMAHA SGMP Driver" のコントロールパネルを開きます。 SGMP Driver を使用しない場合は表示されません。	
音源初期化	・パニック時に音源の状態を初期化します。	
お知らせ	・ www.yamaha.co.jp/xg/ にリンクします。	
MIDPLUG について..	・著作権表示ダイアログを開きます。	

【使い方】

MIDI ファイルのあるページを開けると、サーバー側で設定された MIDI ファイルが
 転送され、演奏されます。また、MIDPLUG に特に対応していないページでも、MIDI
 ファイルが「xxx.mid」の形式で張り付けられているときは、自動的に MIDPLUG が
 呼び出され、演奏されるようになります。
 クライアント、サーバーの設定については、【サーバーの設定】をご覧ください。

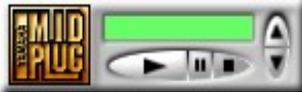
【HTML 文法】

(Ex.)

```
<EMBED SRC="XXXXX.MID" WIDTH=150 HEIGHT=40 PANEL=0 AUTOSTART=TRUE REPEAT=TRUE  
TEXT="xxxxxx">
```

コントロールパネルのサイズ指定は以下の通りです。

- "WIDTH=150 HEIGHT=40"の時、150 × 40ドットのコントロールパネルを表示します。



(PANEL=0)



(PANEL=1)

- "WIDTH=100 HEIGHT=30"の時、100 × 30ドットのコントロールパネルを表示します。



(PANEL=0)



(PANEL=1)

- "WIDTH=40 HEIGHT=35"の時、40 × 35ドットのコントロールパネルを表示します。



- "HEIGHT=0"にするとパネルを消すことができますが、この時は、コントロールはできません。
- "AUTOSTART=TRUE"が標準設定で、そのページを開いたときに、自動的に演奏を開始します。"AUTOSTART=FALSE"のときは、コントロールパネルのプレイボタンを押した時に初めて演奏がスタートするように設定できます。
- "REPEAT=TRUE"が標準設定で、停止ボタンが押されるまでループ演奏します。"REPEAT=FALSE"にすると、一度演奏したら曲の終わりで停止します。
- "PANEL=0"の時、白基調のコントロールパネルを表示します(標準設定)。
"PANEL=1"の時、黒基調のコントロールパネルを表示します。
(40 × 35ドットのコントロールパネルは、1種類のみなので、"PANEL="で0/1のどちらを選んでも同じパネルが表示されます。)
- "TEXT="の後に文字列を記入すると、その文字がディスプレイ部に表示されます。全角/半角文字共に表示可能です。表示できる最大文字数は、半角で約14文字を目安にしてください。TEXT オプションを使用しない場合は、MIDI曲のファイル名が表示されます。

[JavaScript について]

JavaScript は、Netscape 社が開発したスクリプト言語で、HTML 文書内に Script を書き込むことで HTML のみではできない処理を補うことができます。

MIDPLUG ver3.00b では LiveConnect に対応し、JavaScript による制御が可能になりました。使用可能な関数は以下の通りです。

```
class MidyPlug extends Plugin {
```

```
  play(loop[True or False], 'URL_to song')  "再生ボタン"と同じ働きをします
```

- "loop"は TRUE の時、loop 再生します
- 'URL_to song' は曲データが EMBED されている URL です
- パラメータの省略は可能で、そのとき"loop"は True、再生データは現在ロードされているものとします

```
  stop();  "停止ボタン"と同じ働きをします
```

```
  pause();  "一時停止ボタン"と同じ働きをします
```

```

setvol(int percent);      ボリュームを整数値で設定します
volumeup();              "音量アップボタンと同じ働きをします
volumedown();            "音量ダウンボタンと同じ働きをします
tempoup();               "テンポ 速く"と同じ働きをします
temporeset();            "テンポ 元に戻す"と同じ働きをします
tempodown();             "テンポ 遅く"と同じ働きをします
pitchup();               "移調 高く"と同じ働きをします
pitchreset();            "移調 元に戻す"と同じ働きをします
pitchdown();             "移調 低く"と同じ働きをします
IsReady();               プラグインが動作可能の時、値 "TRUE"を返します
IsPlaying();             曲が再生中の時、値 "TRUE"を返します
IsPause();               曲が一時停止中の時、値 "TRUE"を返します
GetVolume();             現在のボリュームを取得します
}

```

以下に LiveConnect を使用したサンプル HTML を挙げておきます。これをそのままメモ帳などに写してご使用ください。

これはブラウザ上にコントロールパネルの他に "Play"、"Stop"の文字が現れ、これらをクリックする事で MIDPLUG の制御が可能となるものです（コントロールパネルを見ると、動作が連動しているのが分かります）。

（※'xxxxxx.mid'の部分は、用意した MIDI ファイル名を書き込んでください。）

```

<html><head><title>YAMAHA MIDPLUG ver3.00b</title>

<script language="JavaScript">
<!-- Hide me
function play_sound() {
    document.embeds[0].play('xxxxxx.mid')
}

function stop_sound() {
    document.embeds[0].stop()
}
// End Hide me -->
</script>
</head>

<body bgcolor=#ffffff>
<center>
<br><br>

<font size=+2><B>
  <a href="javascript:play_sound('xxxxxx.mid')">Play</a>
  <a href="javascript:stop_sound()">Stop</a>
</B></font>

<embed src="xxxxxx.mid" width=150 height=40 autostart=false text="MIDPLUG 3">
</center>
</body>
</html>

```

詳しくは YAMAHA Homepage をご覧下さい。

LiveConnect

Netscape 社の Navigator3.0 から装備された技術の名称です。LiveConnect により、ページ上にあるプラグイン、Java applet、JavaScript の間で互いに通信可能になり、よりダイナミックでインタラクティブなページ作りが可能になりました。

JavaScript

Netscape 社の製品 Navigator で初めて採用され、現在は Microsoft 社 Internet Explorer でも採用されているプログラム言語です。コンパイルは不要で HTML ファイルの中に直接書き込むことができます。比較的簡易なプログラム言語として、現在ホームページ作りではポピュラーになりつつ

あります。

JAVA

Sun Microsystem社が開発したプログラム開発用言語です。インターネットでは、ブラウザ上で実行可能な、アプレットと呼ばれる小プログラムを JAVA 言語を利用して作ることができます。これによりゲームやアニメーションなどを実現しているサイトも数多く存在します。JAVA でつくられたプログラムは JAVA の作動環境があれば OS に依存せずに実行可能なため、ネットワーク時代のプログラム言語として注目されています。

【サーバーの設定】

```
MIME type = audio/midi,audio/x-midi, audio/mid,audio/x-mid
action = binary
suffix = .mid
type = midi
```

【使用環境】

- Pentium (75MHz) 以上を搭載した IBM-PC 機またはその互換機 (DOS/V 機)、NEC 「PC-98」シリーズ。実装メモリが 16MB 以上
- 「Windows95」
- コンピュータ本体に接続可能な 16 ビットサウンドカード、または本体に内蔵されている PCM サウンド機能 (S-YG20 使用時)
- 外部音源使用の場合、GM または XG に対応した MIDI 音源、および接続に必要なソフトウェア/ハードウェア。
- Netscape Navigator 2.0 以降 (「LiveConnect」は Netscape Navigator 3.0 以降でのみ使用可)
- およびインターネットが閲覧できる環境。

【注意】

- 16 ビットカラー (約 32,000 色) 以上が表示可能なマシンですと、より美しいコントロールパネルがご覧いただけます。
- MIDPLUG のコントロールパネルを表示させたページから他のページに移った際に、コントロールパネルが残る事があります。その際には、新しいページをリロードすると消えます。
- Soft Synthesizer に関する詳しい情報は、「S-YG20 readme」もしくは YAMAHA Homepage をご覧ください。
- MIDPLUG に関する最新情報は、下記の URL にて行ってあります。ユーザー登録や MIDPLUG に関するご意見などもこちらで承っております。

<http://www.yamaha.co.jp/xg/S/S.html>

※文中の「Netscape Navigator (ネットスケープ・ナビゲーター)」「Windows」「Pentium」

などの商品名は各社の登録商標です。

※MIDPLUG、XG、は当社の商標です。

YAMAHA MIDPLUG ver3.00b MIDI Implementation Chart Version : 1.02

Function ...	Transmitted	Recognized	Remarks
:Basic Default	: x	: 1 - 16	:
:Channel Changed	: x	: 1 - 16	:
: Default	: x	: 3	:
: Mode Messages	: x	: x	:
: Altered	: x	: x	:
:Note	: x	: 0 - 127	:

```

:Number : True voice: ***** : 0 - 127 : :
:-----+-----+-----+-----+
:Velocity Note ON : x : o 9nH,v=1-127 : :
: Note OFF : x : x : :
:-----+-----+-----+-----+
:After Keys's : x : x : :
:Touch Ch's : x : x : :
:-----+-----+-----+-----+
:Pitch Bender : x : o 0-24semi : :
:-----+-----+-----+-----+
: 0,32: x : o :Bank Select :
: 1: x : o :Modulation :
: 6,38: x : o :Data Entry :
: 7: x : o :Volume :
: Control 10: x : o :Pan :
: Change 11: x : o :Expression :
: 64: x : o :Hold1 :
: 66: x : o :Sostenuto :
: 91: x : o :Effect Depth :
: 96,97: x : o :Data Entry SW :
: 100,101: x : o :RPN :
: 120: x : o :All Sound Off :
: 121: x : o :Reset All Cntrls:
:-----+-----+-----+-----+
:Prog : x : o 0-127 : :
:Change : True # : ***** : x : :
:-----+-----+-----+-----+
:System Exclusive : x : o : :
:-----+-----+-----+-----+
:System : Song Pos. : x : x : :
: : Song Sel. : x : x : :
:Common : Tune : x : x : :
:-----+-----+-----+-----+
:System :Clock : x : x : :
:Real Time :Commands: x : x : :
:-----+-----+-----+-----+
:Aux :Local ON/OFF : x : x : :
: :All Notes OFF: x : o : :
:Mes- :Active Sense : x : x : :
:sages:Reset : x : x : :
:-----+-----+-----+-----+
:Notes: :
: :
: :
: :
: :
:-----+-----+-----+-----+
Mode 1 : OMNI ON, POLY Mode 2 : OMNI ON, MONO o : Yes
Mode 3 : OMNI OFF, POLY Mode 4 : OMNI OFF, MONO x : No

```

[EOF]